

別紙

農林水産商工常任委員会資料

(平成23年11月29日)

項目

- 4 DBSクルーズフェリー(株) 代表理事副社長の来県について
【経済通商総室(通商物流室)】…………… 1

商工労働部

DBSクルーズフェリー（株）代表理事副社長の来県について

平成23年11月29日

経済通商総室
通商物流室

1 来県の概要について

11月25日にDBSクルーズフェリー（株）尹奎漢^{ユン ギョハン}代表理事副社長が来県し、環日本海貨客船航路を取巻く現状と課題、今後の取組みなどについて、県、中海市長会、環日本海経済活動促進協議会と意見交換を行った。DBSクルーズフェリー（株）より、今後とも定期運航を継続するとの意思表示があるとともに、一層の安定化と定着化のため、来年6月末に終期を迎える就航経費補助金の継続要請があった。

(1) 日時 平成23年11月25日（金） 14時30分から16時

(2) 場所 ホテルハーベストイン米子

(3) 出席者 DBSクルーズフェリー（株）代表理事副社長 尹奎漢^{ユン ギョハン}、
鳥取県統轄監 河原正彦^{かわはらちひこ}、中海市長会 米子市副市長 角博明^{すみ ひろあき}、
境港市副市長 安倍和海^{あべかずみ}、環日本海経済活動促進協議会会長 足立統一郎^{あだちとういちろう} ほか

(4) 内容

○航路の現況報告

就航から29カ月が経過し、これまで世界同時不況、スケジュール変更、東日本大震災等、困難な時期もあったが定期運航を続けている。境港利用の旅客については東日本大震災後の影響により、韓国人旅行客が急激に落ち込んだが、低廉な旅行商品の販売などにより、ほぼ順調に推移。境港の貨物量は、東海－ウラジオストク港間に比べ低迷しているが、2011年は2009年に比べ約3倍に増えるなど、増加傾向にある。

○定期運航継続の意思表示

環日本海定期貨客船航路は唯一の3カ国航路であり、困難なことがあっても、長期的、永久的な航路となるよう、今後も引き続き定期運航を継続していく。

○航路を取巻く現状

来年3～5月頃には、昨年10月から運休していた韓国東草港とロシアザルビノ港及びウラジオストク港を結ぶ航路が新たな船会社により再開される予定であり、貨物、旅客への影響は避けられない。航路開設の動きが激化しており、環日本海定期貨客船航路を取り巻く現状は非常に厳しい。

○航路の将来戦略

今後は、東北3省の新規貨物等を取り込むため、中国を視野に入れた事業展開を行っている。中国東北3省の貨物を綏芬河経由でDBS航路（ウラジオストク港－東海港－境港）を利用して輸出入する取組みを促進していく。また、琿春経由の貨物については、東草－ザルビノ航路と連携した輸送も模索していく。

○DBSクルーズフェリー（株）の収支改善の状況等

2010年は90億ウォン（約5億8千6百万円）の赤字であったが、売上増と経費節減に努め、経営改善を行ったことにより、2011年は約40億ウォン（約2億6千万円）の赤字となる見込み。また、経営安定化のため、親会社が20億ウォンの増資を行うことを決定した。

○就航経費補助金の支援継続の要請

収支も改善してきているが、他航路との競争もあり、航路の安定化と定着化のためにも、「就航4年目となる来年7月以降も現在と同規模の支援の2年間継続」をお願いしたい。

2 環日本海圏航路に係る就航経費補助金の支援継続の要請に対する今後の対応について

新規航路開設など競争が激化してきている中で、環日本海定期貨客船航路のインフラとしての重要性、今後の中国東北部との物流活性化の可能性、運航会社の経営状況、韓国側の支援状況、さらには就航によるこれまでの効果等を勘案の上、中海市長会や県議会の意向を踏まえ、前向きに検討したい。

【DBSクルーズフェリー(株) 説明資料】

貨物取扱量 (境港輸出入基準)

<2009/6/29~2009/12/31 貨物運送物量> 6カ月間

航路		コンテナ (TEU)	CAR	重機	BULK	
					重量 (kg)	CBM
輸出	SD	20	0	0	22,000	102
	SV	18	19	1	83,000	198
輸出計		38	19	1	105,000	300
輸入	DS	26	0	1	74,000	305
	VS	17	0	0	2,000	2
輸入計		43	0	1	76,000	307
輸出入総計		81	0	2	181,000	607

<2010/1/1~2010/12/31 貨物運送物量> 12カ月間

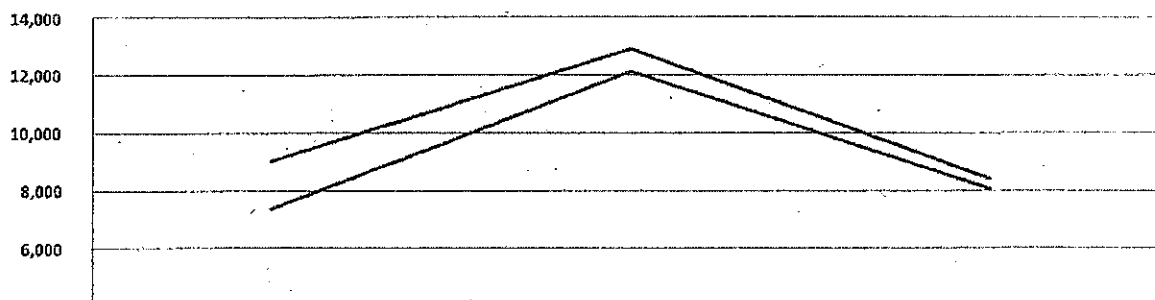
航路		コンテナ (TEU)	CAR	重機	BULK	
					重量 (kg)	CBM
輸出	SD	22	3	2	87,000	331
	SV	169	251	213	1,115,000	1,802
輸出計		191	254	215	1,202,000	2,133
輸入	DS	92	0	0	263,000	1,050
	VS	43	0	1	138,000	79
輸入計		135	0	1	401,000	1,129
輸出入総計		326	254	216	1,603,000	3,262

<2011/1/1~2011/10/31 貨物運送量> 10カ月間

航路		コンテナ (TEU)	CAR	重機	BULK	
					重量 (kg)	CBM
輸出	SD	17	0	7	37,034	279
	SV	253	88	158	1,370,227	3,231
輸出計		270	88	165	1,407,261	3,510
輸入	DS	99	0	0	5,481	31
	VS	63	2	1	17,316	127
輸入計		162	2	1	22,797	158
輸出入総計		432	90	166	1,430,058	3,668

*S: SAKAIMINATO, D: DONGHAE, V: VLADIVOSTOK

日本境港入港人員



	2009年	2010年	2011年
総人員	9,040	12,915	8,427
日本人除外	7,365	12,115	8,076

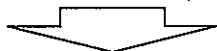
3 運航スケジュールの変更について

11月27日から来年3月4日までの間、厳寒期におけるウラジオストク港での船舶の凍結被害等を防止するため、ウラジオストク泊を現行2泊から1泊とする冬季スケジュールに変更する。

また、年末年始のウラジオストク～東海の旅客需要の増加等に対応するため、年末年始の2週間に限り特別スケジュールにより運航される。

■現行

区分	月	火	水	木	金	土	日
入港	13:00 ウラジオ			9:00 東海	9:00 境港		9:00 東海
出港			14:00 ウラジオ	18:00 東海		19:00 境港	15:00 東海



■冬季スケジュール

【平成23年11月27日（日）～平成24年3月4日（日）】

区分	月	火	水	木	金	土	日
入港		13:00 ウラジオ		11:00 東海	9:00 境港		9:00 東海
出港	15:00 東海		14:00 ウラジオ	18:00 東海		19:00 境港	

- ・ウラジオ港でのナイトステイを現行2日から1日とし、東海港でのナイトステイを1日設ける。
- ・週2航次（境港～東海港：1航次、東海港～ウラジオ港：1航次）の運航は変更なし。
- ・境港の金曜日入港、土曜日出港は変更なし。

■年末年始特別スケジュール

【平成23年12月25日（日）～平成24年1月8日（日）】

区分	月	火	水	木	金	土	日
入港	13:00 ウラジオ		9:00 東海	12:00 ウラジオ	14:00 東海	9:00 境港	9:00 東海
出港		12:00 ウラジオ	13:00 東海	18:00 ウラジオ	19:00 東海	19:00 境港	15:00 東海

- ・境港～東海港は現行どおり週1航次だが、土曜日（12/31及び1/7）入出港となりナイトステイはなし。
- ・東海港～ウラジオ港の運航を週1航次から週2航次とする。